

平成 30 年度広島県教育賞受賞者

○個人

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	いけ だ まさ みち 池 田 正 道 (60 歳)	福山市立川口小学校 校長 (福山市)	「主体的に学び合い、基礎的な内容を習得し、活用できる『考動力』を身に付けた児童生徒」の育成に取り組むとともに、福山市公立小学校長会の会長として、関係機関との連絡調整を行うなど、市内を始め本県教育活動の充実に尽力した。
	メッセージ		
			この度は、栄えある賞を頂き、身に余る光栄と恐縮しております。これまで‘めざす学校’づくりの志を共有し一緒に汗を流してきた方々、それを応援し支えてくださった方々のおかげだと心より感謝いたします。
			また、『すべては子どもたちのために』という合言葉のもと、共に歩んできた福山市公立小学校長会の真摯な営みを誇らしく思っております。
			ありがとうございました。
	にし だ き なえ 西 田 早 苗 (60 歳)	庄原市立庄原小学校 校長 (庄原市)	「課題発見・解決学習」の質の向上・普及や「主体的な学び」を促す授業改善に取り組むとともに、総合的な学習の時間と各教科等を関連させたカリキュラム開発を行い、その成果を広く発信した。庄原市小学校長会の会長として、市内を始め本県教育推進の充実、発展に尽力した。
	メッセージ		
			この度は、栄えある賞を頂き大変光栄に思いますとともに恐縮しています。私を教え導いてくださった上司・先輩の方々、支えてくださった多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。
			子供たちが成長していく姿に感動し、更に伸びていくことを願いながら教職員と共に教育を推進できたことは、大きな喜びです。
			微力ではありますが、今後も広島県教育の充実発展に貢献したいと思っております。
やま した しん いち 山 下 伸 一 (60 歳)	呉市立阿賀小学校 校長 (呉市)	キャリア教育において、その実践成果が認められ、キャリア教育実践優良校として文部科学大臣表彰を受賞するとともに、道徳資料集「心の元気Ⅱ」及び「生徒指導のための道徳資料集」の編集に携わるなど、広島県の道徳教育の発展に貢献した。	
メッセージ			
		この度は、栄誉ある賞を頂き大変光栄に思います。小学校教諭としてスタートして、県教育委員会、府中町教育委員会、呉市教育委員会、そして校長と、様々な経験を積ませていただく中で、多くの方々と出会い、成長させていただきました。すべての皆様に心より感謝いたします。「何事にも挑戦」を信念として走ってきました。この思いを絶やすことなく、これからも広島県教育の充実発展に尽くしていく所存です。	

平成 30 年度広島県教育賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	おかのひでとし 岡野英俊 (60 歳)	福山市立城北中学校 校長 (福山市)	「主体的な学びの創造～自ら考え学ぶ授業づくりを通して～」というテーマを基に、中学校区で授業改善に取り組み、大きな成果を上げるとともに、福山市公立中学校長会の会長として、市内を始め本県教育活動の充実に尽力した。
	メッセージ		<p>この度は、栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。頑張ってくれた教職員、それに応えてくれた生徒諸君、協力して取り組んでくれた校長会の先生方、そして支えてくださった皆様方を代表して頂いた賞であると思っております。</p> <p>生徒の「主体性」をテーマに、未来を逞しく生き抜く力を身に付けていくよう取り組んでまいりました。今後も本県教育の充実・発展のため微力を尽くしていきたいと思っております。</p>
	くらたゆうし 倉田雄司 (59 歳)	県立尾道東高等学校 校長 (尾道市)	国際教養コースの充実を図りつつ、グローバル教育の取組を普通科の生徒へも広げるとともに、地域活性化の取組や学校独自の語学留学プログラムの開発など、積極的に新しい取組を立ち上げ、学校改革に取り組んだ。県立高等学校長協会副会長として、全ての県立高等学校における教育の充実に尽力した。
	メッセージ		<p>この度は栄えある賞を頂き大変光栄に感じております。これまでご縁のあった皆様方、支えてくださった皆様方のお陰であり、日々熱心に教育活動に携わってきた本校職員と共に頂くものと深く感謝しています。</p> <p>生徒が、多様な他者と協働して学び、課題発見・解決していく力を身に付けていくよう、異文化間協働活動に積極的に取り組んできました。微力ながら、今後も広島県教育の充実発展に力を尽くしていきたいと思っております。</p>
	ふじもとひでほ 藤本秀穂 (60 歳)	県立呉宮原高等学校 校長 (呉市)	「学びの変革」アクションプランの趣旨に基づいた教科指導の質の向上を目指し、教員の実態に応じた適切な 3 年間の研究（思考力の育成、ルーブリックによる評価、メタ認知力の育成）を構想し、着実に実施した。県立高等学校長協会副会長として、全ての県立高等学校における教育の充実に尽力した。
	メッセージ		<p>この度は、栄えある賞を賜り、大変光栄に思います。今日まで長く支えていただいた方々のおかげであり、皆様と共に頂いた賞と思っております。心より感謝いたします。今日まで「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」に向け、一意専心、取り組むことができたことは、私にとってこの上ない喜びであり、大きな誇りでもあります。今後も、微力ながら広島県教育の充実発展に力を尽くしていきたいと思っております。</p>

平成 30 年度広島県教育賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
地域文化	伊 藤 之 敏 (77 歳)	庄原市文化財保護審議会 元会長 (庄原市)	庄原市文化財保護審議会委員、同会長として長年にわたり市内の文化財調査及び保存管理に関わった。また樹医として天然記念物や個人所有の樹木等の樹勢回復に携わり、県内の文化財の保護に尽力した。 市内の樹木等のガイドを務めたり、比婆山熊野神社解説本編集委員会の副委員長として書籍の発行を行ったりするなど、文化財保護意識の高揚に寄与した。
	メッセージ		
	地域の文化（有形文化財，無形文化財）を大切にし今後，新たに発掘し日本の文化を後世に伝承することが大切だと思います。 1) 文化財の復元補修。貴重な生活民具（特に音響映像機器など）の保管展示場所の建造物整備補修が必要です。 2) 天然記念物などの古木が気候や環境などの影響により衰弱がみられる。これらを手当てすることにより回復可能なものは樹勢回復作業することが必要です。 3) 地域の言い伝え，その地方の民話，民芸，民具など，調査記録し伝承することが必要です。		
社会教育	有 本 章 (77 歳)	広島県生涯学習審議会 元会長 (東広島市)	広島県生涯学習審議会会長として，生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項について調査審議し，有益な意見を述べる等，本県の社会教育行政に多大な貢献をした。 また，同審議会が「広島県におけるこれからの生涯学習の振興方策について」を答申した際，県民が生涯にわたる学習を通し，豊かで生きがいを持って生活できる社会の実現に向けて，今後取り組むべき具体的な方向性の取りまとめに指導力を発揮し，同審議会の運営にも貢献した。
	メッセージ		
	この度は、図らずも広島県教育賞受賞の榮譽に浴しました。これは生涯学習審議会会長在任中に寄せられた絶大な御支援御鞭撻のお陰です。在任中に拍車をかけた社会変化の中では、AI、ロボットなどの技術や生物工学の進歩に愕然とさせられます。ゲノム編集によって人間を創造できる近未来が出現するなど社会の不確実性が増しました。いまや従来の生涯学習型を担保しつつ社会のあり方を考え直す生涯学修型へのコンセプト転換が求められます。		
	佐 藤 浩 子 (75 歳)	広島県地域女性団体 連絡協議会 会長 (庄原市)	庄原市地域女性団体連絡協議会において，会員のみならず地域住民へ呼びかけ，町の景観や環境改善のため「しょうばら花会議」を立ち上げ，活動を通して「地域コミュニティの輪の拡大」や「安心安全の地域づくり」等に寄与した。 また，広島県地域女性団体連絡協議会会長として，卓越したリーダーシップで協議会を牽引し，男女共同参画，青少年の健全育成等，地域に密着した諸問題に積極的に取り組み，協議会の発展に貢献した。
	メッセージ		
この度は，身に余る広島県教育賞を賜り誠にありがとうございました。 女性会は，地域のお役に立ちたいと青少年健全育成を始め多岐にわたる活動をしています。活動を評価していただいたことが嬉しく今後の励みとなりました。女性会を母体とし結成されたしょうばら花会議は，市内の小中学校での花の寄植教室やオープンガーデンの開催で，多くの方々と喜びを共にしています。今後とも力を合わせ楽しく活動し，地域の活性化に寄与したいと願っています。			

平成 30 年度広島県教育賞受賞者

○団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校 教育	<small>さいじょう</small> 東広島市立西条中学校 (校長 左 田 和 幸) (東広島市)	長年にわたり、伝統を大切に地域と密着した教育活動を推進しており、平成 13 年度から、地域文化の伝承と創造をテーマに組曲「西條」に取り組んできた。 総合的な学習の時間では、3 年間を見通した地域の伝統文化を受け継ぐ学習を行っており、和文化学習を通して物事を総合的に追究する力を身に付けるとともに、地域への愛着を高め、自己の生き方を考えることにつなげている。
	メッセージ	
	この度は栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。これまで、西条中学校の教育活動推進のため、御尽力いただいた先輩の方々、保護者、地域の皆様、そして生徒の皆様から感謝申し上げます。また、これまで組曲『西條』を支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。 今後とも、組曲『西條』を通して生徒の成長につながる活動ができるよう、精進してまいります。	

個人 9 名 1 団体